

保育所の自己評価

施設名 エミールの森ひよこ保育園
所在地 横浜市栄区小山台1-33-10

平成29年度

項目	評価
I 保育理念	
◇子どもの人権に十分配慮すると共に互いに尊重する心を育てるよう取り組みの実施	A
◇児童福祉法の理念に基づき、子どもの最善の利益を考慮し、明文化している	A
II 子どもの発達援助	
1 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場	
◇子どもが健康に生活する場となっている	A
◇子どもが自己選択・自己決定・自己活動できる環境を確保している	A
◇子どもが人とのやり取りを育む環境を構成している	A
2 生活と発達の連続性	
◇保育所全体で子ども観・発達観を共有する場を持ち確認しながら取り組んでいる	A
◇子どもの発達の順序性や連続性を踏まえ長期的な視野をもって見通し、計画実践・記録をおこなっている	A
3 養護と教育の一体的展開	
◇保育における養護と教育の一体化がなされている	A
◇配慮を必要とする子どもについて環境が整備されて保育の内容や方法を配慮している	A

Ⅲ 保護者支援	
1 家庭との緊密化な関係	
◇子どもの成長の喜びを共有するために保育内容等の説明や応答責任を果たしている	A
◇保護者の状況を踏まえて養育力の向上に資するよう適切に支援している	A
◇虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけている	A
2 地域における子育て支援	
◇地域の子育て支援ニーズに応じて、施設の専門性を生かしたサービスを提供している	A
◇専門機関と連携し、地域性に応じた子育て支援をしている	B
◇地域の子育て支援、子育て支援に関する情報を収集し必要に応じて提供している	B
Ⅳ 保育を支える組織的基盤	
1 健康及び安全の実施体制	
◇子どもが快適で健康に過ごせる環境を整備している	A
◇健康に配慮を要する子どもの対応について個別に必要な配慮を明確にしている	A
◇「食を営む力」の育成に向け、その基盤を担っている	A
◇施設内外の安全、衛生管理の維持向上に努めている	A
◇子どもの生活や遊び全般を見据えながら家庭・地域社会・関係機関との連携を図っている	A
2 職員の資質向上	
◇保育の計画は、保育指針に基づき、作成している	A
◇保育士は自らの保育実践を振り返り評価し専門性の向上や改善に努めている	A
◇保育所全体の（サービス）保育内容について計画（P）実施（D）評価（C）改善（P）のサイクルを利用し、自己評価をおこなっている	B
◇研修に対して基本姿勢が示され、研修体制が整備されている	A
◇計画的に人材育成を行っている	A

V 保育を支える組織的基盤	
1 運営・管理・社会的責任	
◇保育の実施と運営上の根拠となる法令、基本的な法令などを理解し、遵守している	A
◇苦情解決制度の仕組みが確立され、保護者に周知されると共に機能している	A
◇個人情報の取り扱いはガイドラインに基づいて実施されている	A
◇施設長としての役割と責任を理解し、質の向上に意欲を持ち、その取り組みに指導力を発揮する	A